

「旬の気象概況」の内容と資料の見方

気象概況

〈天候の特徴〉

旬の天候の特徴と、顕著現象発現時にはその旨を述べる。

〈日々の気圧配置〉

県内の天気に影響した低気圧や高気圧など、日別の気圧配置の特徴を述べる。

仙台、石巻の旬・月統計値

旬の平均気温・降水量・日照時間の統計値と平年差・比、階級区分を掲載する。
下旬号には月の平均気温・降水量・日照時間の統計値と平年差・比、階級区分を掲載する。

仙台、石巻の旬・月統計値の見方

(1) 平均気温・降水量・日照時間と平年差・比

要素と単位	内容（カッコ内は最小位数）
平均気温(°C)	日平均気温から求めた旬または月の平均値 (0.1)
降水量(mm)	旬または月の降水量合計 (0.5) 「0.0」は降水量0.5mm未満、「-」は降水なしを示す
日照時間(h)	旬または月の日照時間合計 (0.1)
平年差(°C)／比(%)	平均気温は平年値との差 (0.1)、降水量・日照時間は平年値との比 (1)

記号の意味

値) : 準正常値

統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内)で欠けている場合を示す。

値] : 資料不足値

統計を行う資料が許容範囲を超えて欠けている場合を示す。

× : 欠測

休止や測器の故障等により統計値が得られない場合を示す。

(2) 平年値と平年差(比)の階級表現

平年値は寒暖などの目安として使われる値で、10年ごとに更新される。現在使用している平年値は1991～2020年の資料から算出した値である。

階級区分は「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の3階級で、それぞれの統計期間内における資料の出現率は同じ割合(1つの階級が33.3%)となる。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)10%」、「かなり高い(多い)10%」と表し、補足的に用いる。

基準	用語					
	低い(少ない)	平年並	高い(多い)			
出現率	33.3%		33.3%			
	かなり低い(少ない)10%	33.3%	かなり高い(多い)10%			
階級値	A	B	C	D	E	F
階級区分の範囲	値 ≤ B	B < 値 ≤ C	C < 値 ≤ D	D < 値 ≤ E	E < 値	

Aは統計期間中(1991～2020年)の最低(少)値、Fは最高(多)値。

なお、階級区分値を求めるための統計期間内の資料の分布に偏りがある場合は、平年値が階級区分の平年並に属さないことがある。

例) 仙台の1月上旬の降水量の階級区分

かなり少ない ≤ 0.0mm < 少ない ≤ 2.7mm < 平年並 ≤ 10.7mm < 多い ≤ 34.0mm < かなり多い
平年値「11.7mm」は階級区分では「多い」となる。(統計期間 1991-2020年)